



マルコの家 通信

No.2 2011.4

自立援助ホーム マルコの家
 〒328-0042
 栃木県栃木市沼和田町14-28
 ☎・FAX:0282-21-7740
 Email: info-marc@easter-village.or.jp

【はじめに】

無縁社会は、実際何十年も前からありました。
 仕事もせず、学校にも行かず職業訓練も受けない、いわゆる「ニート（NEET）」等と呼ばれる人達の事です。
 人間関係を拒み、家の中に籠って日中テレビやパソコンゲーム、漫画の本を読みながらただ過ごすだけです。
 親が面倒を見てくれるうちは良いのですが、親が死に肉親や親族から見捨てられた時点で途方に暮れます。
 病気が空腹になったらどうするのでしょうか。頼れるような人間関係がないまま一人で気ままに人生を送って
 しまったからです。これではもう手遅れ、取り返しがつきません。できれば人生に夢をもつ事ですが、それが
 無理ならば、少なくとも今日一日の食事代や住む宿にかかる費用だけは、労働をして稼がなくてはなりません。
 仕事をすることで職場の人間関係が生まれ、そこから信頼関係が生まれるでしょう。
 その時点でもう、一人ではないのです。

人間は互いに寄りかかりながら生きていくからです。今までに知らなかった喜びや幸せがそこには待っ
 ているのです。一生を共に生きてゆく人と出会えるかも知れないのです。
 その為にはまず外に出て仕事や学校に行く事です。そこでは更に、絶対に必要な社会の仕組みや知識も得られ
 ます。人間関係によって生まれる人生の広がりや想像もできない位大きなものです。
 無理をする必要はないのです。歩幅は小さくても良いのです。一日一歩からできる範囲で進んでみて下さい。
 そうすれば無縁社会とは無縁になるでしょう。

※NEETとは「No Employ, No Education, No Training」
 (教育も受けず、仕事もせず又職業訓練も受けない) という意味です。

マルコの家 施設長 小田文裕

まるごらく えとせとら

自分の給料で欲しい物を買えるって最高。
 やっぱ、家は落ち着く。
 行ってきまーす
 うち、何の仕事が向いてるんだらう。
 マルコの飯はうまい。
 (ご飯)「お代わり！」って言うのが夢だった。
 自分がやらなきゃいけない事は分かってる。
 でもできない、なんでだろう。
 お弁当、(スタッフに)詰めて欲しい。
 お昼に弁当を開ける楽しみが欲しいから。
 自由って..大変。
 仕事って信頼関係が大事じゃん。
 分かってる、言いたい事は分かってるよ。
 だから言わないで。
 パースデーケーキなんて
 何年ぶりかな..。



【在籍数】

| 年齢 | 男子 | 女子 | 計 |
|-----|----|----|---|
| 16歳 | | 1 | 1 |
| 17歳 | 2 | 4 | 6 |
| 18歳 | | | |
| 19歳 | 1 | | 1 |
| 合計 | 3 | 5 | 8 |

H23.4現在

【あしあと】

<H22年>

11月1日 栃木市 鈴木市長訪問
 11月2日 誕生会
 11月3日 イースター祭 お好み焼き屋出店
 (イースターヴィレッジ：足利市)

お好み焼き屋さん



11月6日 誕生会
 11月13日 マルコの家支援
 チャリティコンサート (桐生教会)
 11月24日 里親大会・ケースワーク研修
 12月24日 クリスマス会

<H23年>

1月14日 運営会議 (浦和)
 1月17日 全養関プロ運営委員会
 1月18日 賀詞交換会
 1月19日 経営協研修会
 2月1日 県養協施設長会
 2月10日 経営協 県福祉部と意見交換会
 2月17日 中卒児に対するアフターケアのあり方
 3月3日 経営協研修会 検討会
 3月7日 学悠館高校フレックス特別選抜
 3月17日 県立高校学力検査
 3月23日 県立高校合格発表
 3月24日 学悠館高校転学入試験
 4月5日 誕生会
 4月8日 学悠館高校 入学式

【新スタッフ紹介】

3月23日からスタッフ新メンバーとして「関口栄利子」さんが加わりました。早速入居者のお誕生日にケーキを焼いてくれ、今までマルコに不足していた(?)「女子力」が一気にUPです。「3月末から、マルコの家の一員となりました。共に働くスタッフの方達の支えもあり、日々やりがいを感じながら過ごしています。未熟者ではありますが、今後とも宜しくお願い致します。」

関口 栄利子



【ありがとうございました】 寄附金・物品寄贈して下さいの方々 H22.11月～H23. 3月

柴田 浩 様
 篠木 様
 大平 誠 様
 星 幸俊 様
 船田 様
 柏倉 誠 様
 五十嵐孝 様
 佐藤久美子 様
 日光市 沼尾 様
 新里登喜子 様
 渡辺 金一 様
 小山市役所 田熊 様
 マロニエ医療
 福祉専門学校 様

日本基督教会
 中家 様
 田上 様
 若山 浩子 様
 山崎 恵 様
 とちぎ市 市民活動推進セ
 ンター くらら 様
 NPO法人とちぎVネット 様
 NPO法人 アデット 様
 星の家 様
 埼玉 ダルク 様
 桐生教会 様
 川口教会 様
 三松会 様

【支援者の皆様へ】

子ども達の自立に至るまでの援助として、ご寄付をお願いしています。

<振込先> ゆうちよ銀行
 口座記号・番号 00110-5-314794
 加入者名 社会福祉法人 イースターヴィレッジ

社会福祉法人宛にご寄付して頂くと、
 所得税控除を受けられる場合があります。

この他にも沢山の方にご協力頂きました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

【訃報】

スタッフの遠藤善仁 主任が1月21日逝去されました。いつも「命を尊重し、守るのが我々の仕事」とおっしゃっていた遠藤さん。ギリギリまでマルコで子ども達と過ごし、皆に「命」とは何かを御自身の身をもって教えて下さったように思います。これからもマルコの皆を見守って下さいね。心よりご冥福をお祈り致します。

【編集後記】

先日「フードバンク学習会」に参加してきました。行政関係の方から福祉団体の方まで30名程の方が集まり、「フードバンクとは」から「今後どんな風にこの運動を栃木で進めていこうか」まで、大変興味深い勉強会でした。我が家(マルコの家)も台所は火の車ですから、今後フードバンクに参加できたらその分子ども達に別の支援ができるのではないかなそんな思いもあり、自己紹介の際「自立援助ホームがどんな所かご存知ですか?」と思い切って聞いてみました。結果、挙手して下さいしたのは4人。福祉や行政に関わっている方の集まりの中でさえ、その認知度は10%強・・・「これはもっと私達の存在を周囲に呼びかけて行かなければ!」と広報・営業の必要性を改めて感じました。マルコの家で暮らしているのは、十分な滑走路も用意されず自立を強いられた子ども達です。心に傷も負っています。「こんなことぐらい」そう思われるような事でも、彼らにとっては高い壁であることも多いのです。それ故に失敗もします。でも、将来この子達が社会人となり、日本を支える力を持てるか否かは 我々だけでなく地域、企業含めた「社会の大人の力量」にかかっているのではないのでしょうか。すぐに結果の出ないものに懸ける事ができるか、その忍耐力があるのか
 今、「大人」の在り方が問われているように感じる今日この頃です。

スタッフ 野原